

# きよせ

平成27年(2015年)  
8月15日 No.206



発行 清瀬市議会  
清瀬市中里5-842  
TEL (042) 492-5111 (代) FAX (042) 495-1189  
清瀬市ホームページ <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

# 市議会だより

## CONTENTS

- 02…新議会構成決まる
- 03…新しい議会がスタートしました
- 04…「市政を問う」代表・一般質問(要旨)
- 13…行政視察
- 14…可決・承認・同意した主な議案
- 15…提出された議案等の結果
- 16…市議会日誌、第3回定例会の開会予定

清瀬市無形民俗文化財「清戸の獅子舞 (日枝神社境内)」

# 新議会構成決まる

議長に

渋谷のぶゆき

議員

副議長に

西上 ただし

議員

選出

平成27年4月26日に市議会議員選挙で選出された20名の新議員による第1回臨時会（初議会）が5月21日に開かれました。

臨時会では、議会人事および市長提出議

案の審議を行い、議会人事では、正副議長選挙、各常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任、組合議会等議員選挙、農業委員会委員の推薦などを行いました。

市長提出議案は、議会選出の監査委員の選任および条例の一部改正の専決処分3件を審議しました。監査委員には、深沢まさ子議員を選任、専決処分3件については継続審査としました。

また、第2回定例会は、6月8日から6月24日までの17日間の会期で開かれました。今定例会では、市長提出議案（専決処分の報告（継続審査）、条例等）13件、議員提出議案（意見書等）6件、報告1件、請願3件、陳情2件を審議しました。

提出された議案等の議決結果は15面に掲載しております。



副議長  
西上 ただし



議長  
渋谷のぶゆき

## 就任のあいさつ

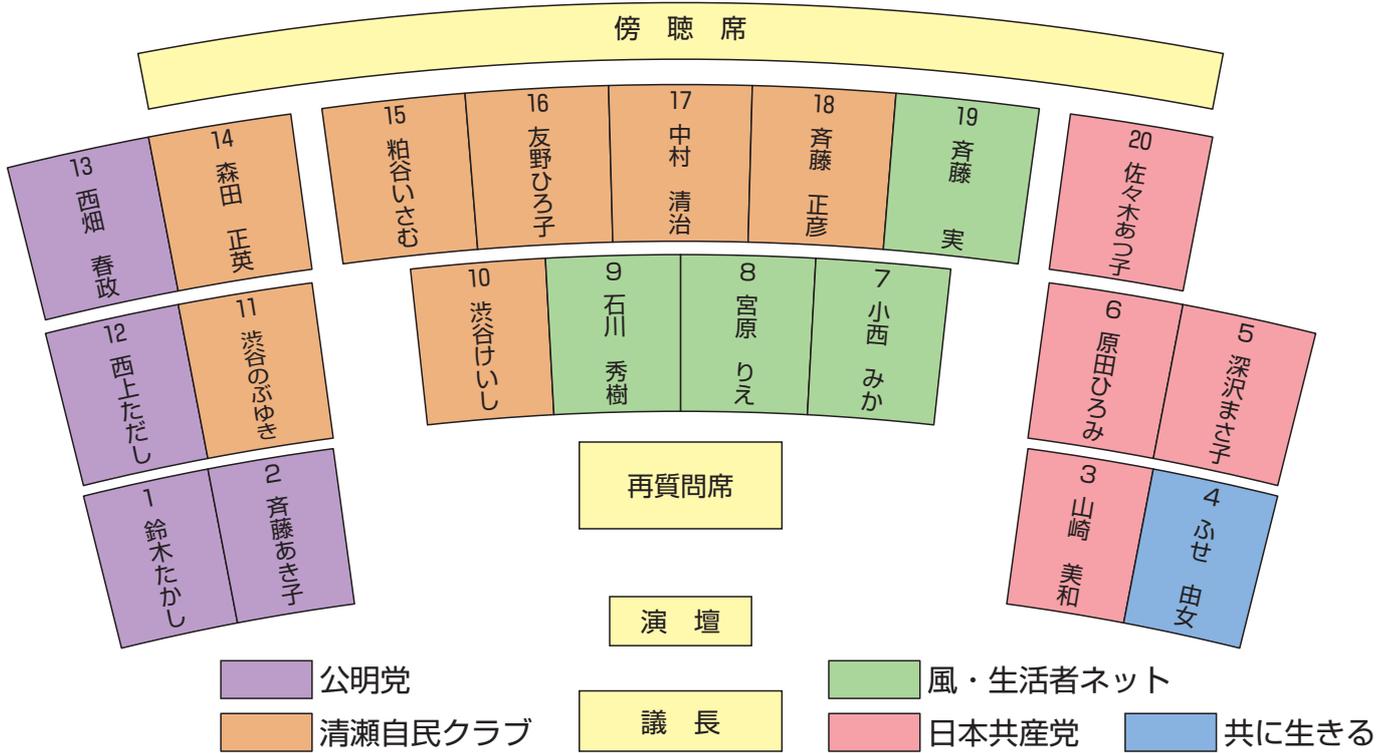
私も、この度の臨時会におきまして、議長、副議長に選任されました。身に余る光栄であり、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

さて、我が国は、経済の再生に向けて、デフレ不況脱却や経済の持続的成長に向けた取り組みを進め、景気は確かにしっかりと回復してきていますが、地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しい状況であります。

このような中、本市でも子育て支援、高齢者福祉など課題は数多くあり、なかでも防災対策では、近年想定を超える台風、大雨等の自然災害により、各地で大きな被害が生じています。市議会としても危機管理体制の強化や高齢者・障害者などに配慮した、安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。

あわせて、二元代表制の一翼を担う議会として、議決機関の使命をより一層認識し、地方創生に向け、魅力ある郷土を築くため努力してまいります。今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 新しい議会がスタートしました



- |  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| <p>◆ <b>組合議会等議員</b></p> <p>議長 渋谷 けいし</p> <p>委員外議員 心せ 由女</p> <p>委員 佐々木 あつ子</p> <p>委員 齊藤 正彦</p> <p>委員 西畑 春政</p> <p>委員 宮原 りえ</p> <p>委員 小西 みか</p> <p>委員 原田 ひろみ</p> <p>副委員長 鈴木 たかし</p> <p>委員 粕谷 いさむ</p> | <p>◆ <b>議会運営委員会</b></p> <p>委員 中村 清治</p> <p>委員 粕谷 いさむ</p> <p>委員 西上 ただし</p> <p>委員 深沢 まさ子</p> <p>副委員長 齊藤 あき子</p> <p>委員長 齊藤 実</p> | <p>◆ <b>建設環境常任委員会</b></p> <p>委員 齊藤 正彦</p> <p>委員 森田 正英</p> <p>委員 西畑 春政</p> <p>委員 山崎 美和</p> <p>副委員長 小西 みか</p> <p>委員長 原田 ひろみ</p> | <p>◆ <b>福祉保健常任委員会</b></p> <p>委員 佐々木 あつ子</p> <p>委員 友野 ひろ子</p> <p>委員 宮原 りえ</p> <p>委員 心せ 由女</p> <p>委員 鈴木 たかし</p> <p>副委員長 渋谷 けいし</p> <p>委員長 石川 秀樹</p> | <p>◆ <b>総務文教常任委員会</b></p> <p>代表委員 鈴木 たかし</p> <p>委員 小西 みか</p> <p>◆ <b>東京たま広域資源循環組合議会議員</b></p> <p>心せ 由女</p> <p>◆ <b>多摩六都科学館組合議会議員</b></p> <p>西畑 春政</p> <p>齊藤 実</p> <p>◆ <b>昭和病院企業団議会議員</b></p> <p>原田 ひろみ</p> <p>中村 清治</p> <p>◆ <b>多摩北部都市広域行政圏協議会 審議会委員</b></p> <p>審議会会長・議長 友野 ひろ子</p> <p>宮原 りえ</p> <p>◆ <b>多摩地域都市モノレール等建設 促進協議会委員</b></p> <p>齊藤 あき子</p> <p>渋谷 のぶゆき</p> <p>◆ <b>野火止水保全対策協議会委員</b></p> <p>山崎 美和</p> <p>石川 秀樹</p> <p>齊藤 正彦</p> <p>◆ <b>三多摩上下水及び道路建設促進 協議会</b></p> <p>理事 渋谷 のぶゆき</p> <p>第一委員会(上水道) 西上 ただし</p> <p>第二委員会(下水道) 齊藤 実</p> <p>第二委員会(道路) 齊藤 あき子</p> |
|--|---|---|---|---|

※ 委員の表記の順番は委員長等を除き 議員の議席番号順です。

# 市政を問う



## 代表・一般質問 要旨

代表質問：各会派の代表が、市長の所信表明に対し代表質問を行う。あわせて一般質問も行うことができる。  
一般質問：議長を除く議員が行政全般にわたり、事務の執行状況、方針等に対し質問することができる。



清瀬自民クラブ 代表質問

齊藤 正彦

### 清瀬市の将来像について

「手をつなぎ・心をつくむ・みどりの清瀬」はまちづくりの基本理念です。自治の歩み、協働の歩みにより清瀬の地において幸せな人生を過ごせる、住みたいまち、幸せなまち清瀬。豊かな自然環境・医療福祉が充実している安全で潤いのあるまち清瀬。全国一番を目指す目標を伺う。

**市長** 個性を活かした政策では、清瀬と結核医療の歴史に光を当て、市民に清瀬の誇りを感じてもらえる取り組みを進めていきたいと思えます。また、限られた財源の中でも現場力を活かすことで、清瀬市にしかできない全国一番の市民サービスを目標に頑張っていきたいと思えます。

### 空き家対策の現状を伺う

放置された空き家の撤去や活用を進める「空き家対策特別措置法」が施行された。空き家は、全国住宅の14%に当たる82万戸に上ると言われる。本市の空き家件数と、自治体が、「特定空き家」に指定し、解体や修繕等を勧告命令できるような空き家はあ

るのででしょうか。  
**総務部長** 空き家の件数については、249件を把握しております。これは昨年度に調査（共同住宅を除く）を行い、再度、主に外見の目視等による調査を実施した結果です。そのうち管理が行き届いていない特定空き家に該当する恐れのあるものは33件を把握しています。

### 新規就農の助成支援について

農家出身ではない若い女性が、新規就農をする例が目立ちます。自然派志向の高まりに加え、天候等に左右されて思い通りにいかない点にも挑戦のしがいを感じ、消費者目線を販売に活かせる強みもあると言います。本市にも若者が新規就農をしましたが、助成策等を伺う。

**市民生活部長** 本市は、全域が市街化区域となっています。市街化区域内農地の貸し借りは、農地法等の制限を受け、難しいのが現状です。しかし、新規就農に関する相談については、東京都農業会議が新規就農窓口を開設していますので、ご紹介をさせていただきます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



日本共産党

代表質問

## 佐々木あつ子

### 市民に寄りそう

#### 市政運営を求めます

消費税増税や物価高騰などで市民生活は厳しさを増しています。高齢者の命綱である年金は、毎年引き下げられ貧困と格差がいつそう広がるなか、市民に寄り添う市政が求められています。

市長は、国民健康保険税の引上げや公立保育園2園を廃園する一方で、庁舎には51億円もかける建て替え計画を進めようとしています。

厳しさを増す市民生活の実態をどう理解されているのか伺います。

**市長** 市民の暮らしの実態にしっかりと向き合い、どのような行政サービスを望んでいるかを把握すること。そして限られた財源の中で優先順位を見極め、最少の経費で最大の効果を上げること。これを私がやらなければいけない使命であり、市長としての責任だと思っています。

### 負担増を押し付ける介護 保険の改善策を求めます

この8月から、特別養護老人ホーム等の介護施設入所者への軽減策が改悪され、資産要件が加えられ利用

者や家族に大きな不安を与えています。改悪は介護難民を一層生み出すこととなります。改善策を求めます。

**高齢福祉担当部長** 介護保険制度の改正は、費用負担の公平化や、保険料の上昇を抑えるため、所得や資産のある人の自己負担を見直すものです。本市では、健康づくりや介護予防事業の拡充を図り、多様な生活支援等が利用できる「地域」を支援する仕組みづくりを検討しています。

### 歴史の真実を教える 教科書の採択を求めます

今年は、中学校の教科書を採択する年です。歴史を歪める歴史教科書採択が全国で問題になっていますが、市民や教師などの意見を反映させ、歴史の真実を教える教科書を採択するように求めます。

**教育長** 本市は、保護者代表と校長または副校長を委員とする教科書調査委員会からの報告や、市民アンケートの結果を参考に5人の教育委員が協議を行い合議により教科書を決定します。本市の子どもたちに最も適した教科書は何かを議論の根幹に据えて公正、適正に採択します。



公明党

代表質問

## 西上ただし

### キレル子どもをなくす

#### 対応と対策を聞く

ある報道で、「キレル子ども」の低年齢化が進んでいる。朝、運動することで脳を活発にして前頭前野を鍛えることや、自尊心を高める授業によりキレル行動をコントロールできる」という内容だった。また、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣を身に付けることも大事。

授業に集中できる児童  
・生徒を育む本市の取り組みと親自身の意識  
改革を伺う。



### 安全なまちを築く施策 について

自転車の安全運転を進める改正道路交通法が6月1日に施行された。市民への周知と併せて道路標識や標

示などの対応。また、都道東3・4・7号線の安全対策として自転車ナビラインの整備、ひまわり通り・上清戸一丁目6番および14番地付近の歩道拡幅整備を都へ要望してほしい。当該地域の安全対策についても伺う。

**都市整備部長** 道路交通法の改正を受け、自転車利用者の罰則適用年齢が、14歳以上となり市内の中学生を対象としたPRチラシの配布の検討。一般向けには、市報・ホームページ等により自転車利用の罰則強化等を周知していきます。都道のナビラインや歩道設置は東京都へ伝えます。

### 「ワンコイン商店街」で 商店の活性化を進めよ

きよせプレミアム付き商品券の発行に併せて、ワンコイン（500円）商店街やプレミアムセールなど、より一層の取り組みを期待する。

**市民生活部長** ワンコイン商店街は、プレミアム付き商品券1枚と同額の500円で、店頭ワゴン販売等買物しやすい環境づくりに役立つと思います。各店舗が、どのような工夫ができるかを商工会や商店街と相談しながら、特徴を活かしていければ、市全体の活性化に繋がると考えます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



## 風・生活者ネット 代表質問

# 小西 みか

### 困窮する市民を一人でも多く救う事業の実施を

本市では、昨年度のモデル事業に続き、自立相談支援事業と住居確保給付金の支給を実施している。

連携する部署や機関が多いほど、解決に結び付く数だけでなく、相談に結び付く数も増える。どのような部署や外部機関と連携しているか。  
**健康福祉部長** 月1回実施している自立相談支援調整会議には健康福祉部、市民生活部、子ども家庭部、教育部の関係各課及び、清瀬市社会福祉協議会、ハローワーク三鷹、清瀬・ハローワーク就職情報室が参加し、また医療機関、民生委員及び法テラスなどと連携しています。

### 農地保全に向けた協議会や市民サポーター組織を

都市農地は消費地に近く、新鮮な農産物を供給し、緑地、防災、市民に潤いと安らぎを与える空間として大切な役割を担っている。しかし、本市でも農地は減少し続けている。

農地が市民の共有財産であることを認識し、地域ぐるみで都市農業の存続に向け取り組む必要がある。そ

のために、農業者や有識者、市民が継続的に意見交換し、知恵を出し合う協議会や農業を応援する市民サポーター組織をつくれぬか。

**市民生活部長** 農業委員会と清瀬市都市農政推進協議会の協力により、産業振興課では、一般市民を対象とした農地の現地見学会を毎年開催し、都市農業への理解を深めています。今後とも内容の充実に努め、市民に都市農業の保全について理解を求めていきたいと思えます。

### 農や食を学び地産地消を進める学校農園を

農業は植物、食、気象、職業、経営など、生きる力に直結する教材だ。農業者や援農ボランティアなどの協力により、日常的に農に触れる学校農園についての考えを伺う。

**教育部長** 学校農園は、市内全小学校に設け、総合的な学習や生活科の学習に活用しています。清瀬第五中学校では、市内農家での農業体験から、農業を核とした学習を進めています。また給食の地場産物活用に着々と取り組んでいます。



## 清瀬自民クラブ 一般質問

# 中村 清治

### 下宿地区市道1016号線道路改修工事について

新座市大和田地区区画整理事業に伴う、行政境道路の改修工事は、今後の交通対策を予想すると必然性が高い。開発区域内に平成30年以降にスーパードルや物流施設事業が開始される。道路改修事業は、地域権利者として新座市と協議し、早期の事業実施計画を進める地域基盤整備対策を伺う。

**都市整備部長** 新座市が平成32年度の完成に向け大和田三丁目地区土地区画整理事業実施の準備をしています。今までも都市計画道路や本市市道1003号線に新たに接続する道路の線形、橋梁、地区整備計画等を協議してきました。引き続き新座市と協議していきたいと考えています。

### 大江戸線清瀬新駅構想と新座市の計画について

12号線延伸促進協議会は東所沢駅までの延伸計画だったが、6月の協議会で新座市長が採算性を考えて新座新駅までと発言。渋谷市長は「異議なし」と答えた。新座市延伸期成同盟会は新座新駅より先をJR新座駅に直結の意向。所沢市長は反対した。

### 清瀬駅から下宿を経由し、新座駅バス路線新設を

下宿地域内の柳瀬川通りはバス路線がなく、幾度も西武バスに要望したが実現していない。大和田地区の開発に伴い川越街道と武蔵野線の交差点の改修工事が予定されている。このことにより市民要望も強いバス路線を確保し、下宿地域の交通利便性を確実に高くする対策を伺う。

**都市整備部長** 国道254号線と武蔵野線の側道の交差点の改修工事について新座市に確認したところ、実施時期は未定とのことですが、可能性が高いと予想されることから、現実の話になった時期に合わせて、関係機関と調整していくべきと考えています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 友野ひろ子

### コミバスの「市民の足」としてのあり方について

高齢化が加速する中、多くの市民の足としてのコミュニティバスの利用がより有効的になるように再検討されるべきだと思う。運行路線、料金、便数等について西武バスとの再検討だけではなく、国レベルの問題として清瀬市から発信し、発展させるべきだと思うが、見解を伺う。

### 「老人いこいの家」の椅子の設置について

老人いこいの家は、老人会や自治会等、いろいろな集会に利用されているが、高齢者にとって、「足を折って座ること」は、とても困難であり、「座布団をイスに変えてほしい」という声が多くある。この現状を理解し、椅子の設置に取り組んでもら

いたいと思うが、見解を伺う。

**高齢福祉担当部長** 本市としては、

これまで手すりやトイレ、エアコン等の設備面の改修、改善を行ってきています。椅子の要望についても引き続き加齢に伴う身体症状等を考慮し、利用しやすい環境づくりに配慮していきたいと考えています。

### 南口「ふれあい通り」の椅子の設置について

多くの高齢者から、買い物の途中で、ちょっとした腰を下ろせる椅子の設置を！という声がある。清瀬駅南口エレベーター前の花壇の廻りのコンクリートに腰を下ろす所がある。高齢者の街、巣鴨にあるような椅子を参考に是非、椅子の設置に取り組んでいただきたいが、見解を伺う。



**都市整備部長** 以前にも同様の要望

がありました。この場所は駅に近いため、夜はベンチを利用する人の会話による騒音や、吸い殻ごみの問題、泥酔した方が寝てしまうという課題から、近隣住民や土地の所有者の理解が得られなかったと聞いていますので設置は難しいと思います。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 森田 正英

### 貧困が生む教育格差について

本市の潜在力を上げるため、子どもたち一人一人の教育レベルを底上げすることが緊急を要する課題となる一方、親の経済状況や家庭環境が、子どもの教育に与える影響も指摘されている。貧困がもたらす教育格差をどう埋めるのか、将来を担う人材育成の古くて新しい課題が目の前に横たわる中、対応について伺う。

**教育長** 昨年度より、全ての子どもたちが基礎的、基本的な学習内容を確実に習得することを目的とする放課後補習事業に取り組んでいます。また、スクールソーシャルワーカーが、家庭環境などを要因とする不登校や暴力行為などさまざまな支援にあたっています。

### 清瀬ブランドを海外に発信するきっかけづくりを

東京オリンピックピックという世界的なイベントをターゲットに清瀬ブランドをアピールしていく発想は大切である。ニンジン等の特産品に加え、イチゴやトマトなど新しい取り組みも生まれている中、海外販路の開拓

情報発信について伺う。

**市民生活部長** 東京オリンピックは、優れた清瀬産の製品や農産物、加工品等を国内外に知らしめる絶好の機会と認識しています。今後、関係機関である商工会やJA、農業委員会等に働きかけ、地域資源のマーケティング強化の一方策として活用できるかを研究していきたいと思えます。

### 「成年後見制度」首長申し立てについて

核家族化により孤立した高齢者が増えていることを背景に後見の必要性を市町村長が判断し、裁判所に伝える「首長申し立て」が増えている。自治体により関心や取り組みの差は大きいという分析もあるが、後見が必要な人の把握や首長申し立て制度の体制整備の現状と対応を伺う。

**高齢福祉担当部長** 本市の市長申し立ては平成26年度末までの10年間で46件。地域包括ケア推進担当職員がきよせ権利擁護センター等と連携し、親族からの情報収集や戸籍調査とともに、弁護士等の専門職による検討会で適否を審査し、東京家庭裁判所立川支部へ申し立てを行っています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



## 清瀬自民クラブ 一般質問

# 渋谷けいし

### 多摩地域26市で一番の市民サービスを目指そう

本市は、「多摩地域26市で一番の窓口」を標榜しているが、26市で一番の市民サービスを目指すべく、より多くの方が利用しやすい日曜開庁、市営駐車場の24時間営業の実施、地域センターなどの休館日の曜日分散化など市民本位のサービスが提供できないか本市の見解を伺う。

**企画部長** 市民課の土曜窓口、毎月最終日曜日の納税相談窓口等を実施。今後はマイナンバー制度により各種証明書の交付件数の減少やコンビニエンスストアでの交付等、窓口の在り方を検討したいと考えています。また、クレア市営駐車場は、24時間営業に向けて準備を進めていきます。

### 清瀬市消防団の更なる充実強化を

消防団充実強化法が施行されたが、本市でも消防団員の意見を十分に踏まえた充実強化策が求められていると考える。女性消防団員の任用、消防団訓練場の整備、団員の装備・研修の充実、消防団協力事業所表示制度の導入、消防団サポート事業の実

施などについて本市の認識を伺う。

**総務部長** 女性消防団員の任用や専用の訓練場、消防団協力事業所表示については今後団本部と協議したいと考えています。また、団員の装備等は、今年度も防火衣の更新やトランシーバーの配備等の充実強化に努めています。研修は多種多様な防災体制づくりに繋がる工夫を図ります。

### シティプロモーション推進計画の策定を

市長の掲げる「エコツーリズムやシティプロモーションの推進について今後、展開すべき施策や課題が山積していると感じる。これらについてスピード感を持ち、かつ効果的に施策展開するためにも適切な推進計画を策定すべきと考えるが本市の見解と今後の施策展開について伺う。

**企画部長** 今年度は「清瀬ガイドブック」を制作し、来年度以降、シティプロモーションの推進方針、推進計画を順次策定します。その間もエコツーリズムの考え方に基づく事業の推進については、事業所管課と連携し、スピード感を持って展開が図れるよう努めたいと考えています。



## 日本共産党 一般質問

# 深沢まさ子

### 憲法を解釈で変える

### 「戦争法案」に反対を

今国会審議中の「戦争法案」は、多くの憲法学者が、憲法に違反すると声明を出しています。解釈だけで憲法を変えていくことは、立憲主義に違反し、この法案の違憲性は明らかです。

安倍政権の進め方について、市長の見解を伺います。

**市長** 世界の恒久平和は誰もが望んでいるところであります。今回の法案はこれまで日本が抱えてきた安全保障上のさまざまな細かなところでの矛盾を克服して、日本と世界の平和を確保するためのものと認識しています。

### 米軍横田基地のオスプレイ配備撤回を求める

日米両政府は、2017年からCV-22オスプレイを米軍横田基地に配備すると発表しました。ハワイで墜落したMV-22オスプレイよりも事故率が3倍も高く、住宅街が密集している首都圏上空が訓練地域になり、大惨事は免れません。政府に配備撤回を求めるべきです。

**市長** 横田基地は、人口が密集した市街地に所在しています。周辺住民の日常生活での不安が続くことのないように、引き続き東京都市長会を通じて、横田基地周辺の自治体と共に連携しながら、必要な要請活動を行っていきたいと思います。

### 野塩・下宿市民センターの耐震化を早急に求める

市長は所信表明で、避難所として指定されている野塩・下宿地域市民センターの耐震化を早急に行うと表明しました。この間も、大きな地震が頻発しています。

両市民センターにかかる一般財源は多額でないことから、6、7年後ではなく、早期の耐震化を求めます。

**企画部長** 両施設は、耐震構造指標から倒壊する危険性が低いとされ、市役所庁舎は同じ規模の大地震の震動及び衝撃に対し倒壊または崩壊する危険性があるとされています。清瀬市公共施設耐震化計画の通り、先に庁舎の耐震化を実施後、両施設の耐震化を順次実施していく計画です。



\*印は、16ページに用語の解説があります。



日本共産党

一般質問

山崎 美和

### 需要高まる学童クラブ 指導員は正規職員に

今年度の待機児童は放課後児童室で緊急・臨時的対応をしましたが、学童クラブの需要は増加しており、定員増が求められています。

保護者と接する時間が短い子ども達のSOSを受け止める体制づくりが必要です。保育の質を確保し、働き続けられる環境を整備するため、指導員は正規雇用に戻すべきです。

**子ども家庭部長** 学童クラブは、児童の健全な育成を目的としており、保育士や幼稚園、学校等の教諭など子どもの育成に必要な専門知識を持った嘱託指導員が育成をしています。嘱託職員が長く働き続けられるように処遇改善に努めています。

### 就学援助対象者を広げて 入学準備金は三月支給を



物価上昇が子育て世帯のくらしを直撃し、経済的支援が急務です。就学援助対象者拡大が必要です。

入学準備金支給が八月では遅すぎます。他市の実践を研究し、清瀬市

でも支給を早めること、クラブ活動費等、費目の追加を求めます。

**教育部長** 本年度の就学援助認定は、特例措置として改定前の生活保護基準を採用し、対象者に配慮した対応をしました。費目は他市と同程度の支給項目と考えています。また、入学準備金は、多くの認定者の適正な作業を行うため、現状では早めの支給は難しいと思われま

### 柳瀬川通り新座市の 開発について住民に説明を

通学路なのに交通量が増えて危険な柳瀬川通り。さらに新座市側が物流倉庫と商業施設を建設予定。不安が深刻化する地域住民から要望書も出ています。大型貨物車への対策等、本市の対応の説明が必要です。新座市には本市住民に対して環境影響評価の説明会等調整を進めてください。

**都市整備部長** 新座市で実施している環境影響評価につきましては、7月に環境影響評価調査計画書の縦覧及び説明会を、清瀬市民を対象に実施する予定とのことです。また、大型車両の進入対策については、事業後の交通量対策を含め、新座市と調整してまいります。



日本共産党

一般質問

原田ひろみ

### プライバシー侵害する マイナンバー制度の中止を

10月から一人一人に番号通知を行うマイナンバー制度は来年から本格実施が狙われています。

年金等の社会保障や納税などの情報がマイナンバーで結ばれるため、いったん流出すれば芋づる式に個人情報が出し、不正利用のリスクは限り知れません。預貯金まで対象にしようという中、年金情報漏えいが起き、批判も強まっています。制度の延期と中止を求めざるべきです。

**総務部長** いわゆるマイナンバーでの個人情報管理ですが、従来どおり各市町村等が個別に管理する分割管理方式であり、国が一括管理するのではなく分散管理とされています。今後も市民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための制度施行に取り組んでまいります。

### 待機児童解消は認可保育園 の定員増を計画的に

子ども子育て支援事業計画は、児童人口の減少を前提に認可保育園の定員増を一切見込まず、乳児の小規模・家庭的保育を増やただけです。

保育需要は増えるなか楽観的であり、待機児童解消は望めません。認可保育園を計画的に増やすべきです。

**子ども家庭部長** 子ども子育て支援事業計画の量の見込みは人口推計と平成25年度に行ったニーズ調査結果から国の算出方法により求めたものです。3歳未満の保育ニーズが高いことから、10月に認可乳児保育園の開設を予定し、平成28年度からは、地域型保育事業で対応いたします。

### 難病手当の所得制限・ 併給制限の撤廃を

国の難病疾患の拡大に伴い、清瀬市は難病手当に所得制限と他の手当との併給の制限を導入しました。

治療やリハビリに支障を来すなど打撃となっています。難病患者の支援のために、制限の撤廃を求めます。

**健康福祉部長** 難病疾患支援金の制度改正の周知は全ての受給者と、改正後受給資格がなくなる方には更に詳細な通知文書を送付しました。対象者からの問い合わせには、改正理由を丁寧に説明して理解して頂いています。今後も他の制度の利用等を含めて、個別に対応してまいります。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



公明党 一般質問

## 西畑 春政

### 義務教育就学児医療費助成の所得制限の撤廃

子どもの医療費の助成対象を広げる市区町村が急増しています。厚生労働省の昨年の1千742市区町村への調査では、通院で中学卒業またはそれ以上まで助成する自治体は1千134市区町村（65%）に上ります。本市も助成が行われていますが、所得制限と通院1回につき自己負担額200円となっています。所得制限の撤廃を求めます。

### 子どもたちにリハビリテーション学院の広場開放

放課後、子どもたちが気楽に集まり、短時間でもキャッチボールやボール蹴りを行う広場がありません。子どもたちにリハビリテーション学院跡地の広場の開放を求めます。  
**総務部長** 現在、独立行政法人国立

病院機構東京病院より、災害時の有効空地の目的で無償借用しています。近年、球技をする広場が減少し、子どもたちの放課後対策の面からも課題と考えておりますが、独立行政法人と貸与条件の変更及び承認も必要なため、今後の検討事項とします。



### 夜間中学校の設置について

さまざまな事情で義務教育を修了できなかった人が通う夜間中学校。現在は1都2府5県に31校設置しています。義務教育の学習機会を充実させる観点から文部科学省は昨年、全都道府県に最低1校以上設ける方針を打ち出し予算化しました。教育機会均等のためにも夜間中学への支援が求められます。見解を伺います。  
**教育部長** 夜間中学校在籍者の支援については、昨年度より、就学援助の対象者をこれまでの「18歳以下の生徒の保護者」から年齢制限をとり、本人も受けとれるように対象範囲を拡大しました。今後も、義務教育未修了者の就学支援に対して可能な限り努力をしたいと考えています。



公明党 一般質問

## 斉藤あき子

### 子どものインターネット依存対策について

子どものインターネット依存に悩んでいる多くの保護者が何らかの対策を望んでいます。本市の取り組みを伺うとともに、今後開催予定の中学生対象の教育フォーラム、生徒会サミットで、生徒自身によるネット依存対策に取り組み事を提案します。見解を伺います。

### 都営大江戸線延伸対策について

清瀬市旭が丘地域、下宿地域は、西武線清瀬駅から離れた地域にあり、交通網や道路の整備が不十分であることから、大江戸線新駅ができればより利便性が増すこととなります。清瀬市における都営大江戸線延伸と新駅推進の取り組みを伺います。  
**企画部長** 今年度は、15年に一度と

言われています。国土交通省の交通政策審議会から新たな答申が出される年です。延伸促進協議会では、勝負の年と位置付けていますので、引き続き大江戸線の武蔵野線東所沢駅までの延伸について、関係機関に要請していきたいと考えています。

### ごみ問題について

清瀬市では、ごみの減量化と資源ごみの回収により、ごみも年々減る傾向にあります。生ごみが減れば収集費や焼却費が減り、そして何より環境にとって大変好ましいことです。そこで更なるごみ減量化推進のため、生ごみ処理機の助成額の増加と普及促進について本市の見解を伺います。



**都市整備部参事** 生ごみ処理機助成金は、一人でも多くの方が生ごみの減量化に取り組んでいただくことを目的としていますので、現在の助成限度額の中で、多くの申請をいただけるよう、イベントや広報媒体を活用し、広く周知に努めていきたいと考えています。



公明党 一般質問

## 鈴木たかし

### 機能性表示で清瀬産野菜 ブランドの立ち上げを

4月1日から食品に対して健康への効果を表示できる機能性表示食品制度がスタートしました。この制度を利用して、野菜のパッケージに健康効果を表示し、医療のまち・清瀬の「きよせ野菜」としてブランド化してはいかがでしょうか。

**市民生活部長** 機能性表示食品制度は、始まって間もないため、生産者への周知や認知度が高いと言えない状況です。明治薬科大学や東京都などの関係機関との連携をとり、情報収集に努め、生産現場への周知等も含めブランド化の構築を図っていきたいと考えています。

### 自然の残る野塩二丁目 柳瀬川回廊の延伸を

柳瀬川と空堀川の合流工事の始まった明治薬科大学北側から野塩団地北側への地域は、柳瀬川河畔に自然が多く残り、清瀬の中でも大変に美しいビューポイントです。流域を柳瀬川回廊として延伸できないでしょうか。

**都市整備部長** ご提案の延伸について

では、今後の埼玉県の実施する河川改修工事にあわせて、検討することが望ましいと考えています。その時には、検討委員会等により、さまざまご意見を聞きながら計画をつくり、関係者の協力を得ていくことになると考えています。

### 清瀬に在住していた 藤沢周平氏のアピールを

藤沢周平氏は昭和40年前後、市内に住んでおられました。こうしたことをアピールする意味で、中央図書館にコーナーを設けたり、クレアビル4階や郷土博物館などで「藤沢周平展」を開催できないでしょうか。また、氏以外にも「結核と文学」というテーマで、清瀬の取り組む『世界医療文化遺産』へのアピールができませんでしょうか。

**教育部長** 藤沢周平氏は、清瀬市ゆかりの作家として図書館所蔵図書リストにより紹介しています。コーナー設置については、今後の検討課題とします。世界医療文化遺産については、結核医療に関する図書を集中的に収集し結核医療コーナーを設置する予定です。



風・生活者ネット 一般質問

## 宮原りえ

### 新興住宅地の 「まちづくり」について

竹丘三丁目や下宿二丁目などの新しい住宅地には現役世代が市外から転入しており、高齢化率の高い清瀬市にとって歓迎すべきこと。人口分布が変わる中、公共施設・商業施設、交通網等の再整備が必要になる。駅前の市役所窓口の拡充や、関越自動車道の騒音への対応を求める。将来の高齢化を見据え、地域コミュニティ形成への取り組みを。



**都市整備部長・企画部長** 関越自動車道への対応については、管轄するネクスコ東日本にお伺いしたところ、通常騒音は防音壁等を設置して対応しているとのことでした。また、本市は地域コミュニティの再生を目指し、小学校区を単位に円卓会議を推進しています。

### 「放課後児童室」について

六小の「放課後児童室」の経緯と詳細―出席確認・指導員の体制―を伺う。おやつがないことに、子ども

や保護者から苦情は出ていないのか。  
**子ども家庭部長** 梅園学童クラブの待機児童対策として清瀬第六小学校のランチルームを使用し、出欠席や降所時間の確認など学童クラブに準じた育成を指導員2人、補助員1人体制で実施しています。おやつのは提供は運営上難しく、保護者のご理解をいただいています。

### 「子どもの居場所作り」の バックアップを求める

松山地域の「おひさまネットワーク」は、ひとり親や不登校といった子どもの居場所を作ることを目指し、有志市民が運営している。清瀬市のスクールソーシャルワーカー（SSW）も連携し、担当の生徒を誘い出すなど実績を上げている。市内全域に広げるには場所や担い手の確保が課題。また、SSWは地域に根付いた活動が必要。常勤化を求める。

**教育部参事** スクールソーシャルワーカーは、いじめの問題や子どもの貧困対策、その他のさまざまな観点から活動し、活躍が期待されている人材ですので、今後、勤務のあり方についても検討していかねばならないと考えています。



風・生活者ネット 一般質問

石川 秀樹

### 長期総合計画 策定手法の特徴は

まちづくりの最上位計画である第4次長期総合計画の基本構想の答申が出された。今回の計画の策定については従来にならずに市民参画の手法が随所にみられた。特徴を説明していただきたい。

**企画部長** 市民参画の取り組みは、平成25年7月に市民満足度調査を実施し、平成26



年度2月には地域別懇談会を、同年6月には本市で初めての無作為抽出による市民ワークショップ「清瀬みらいカフェ」を開催し、清瀬市の将来ビジョンについて幅広く話し合っていたいただきました。

### 新庁舎の建設費 51億円が上限か

新庁舎の建設事業費は、策定委員会の答申にある50・8億円が上限であると考えてよいか。東京オリンピ

ックや円安の影響で、工事費用や資材単価が高騰しているなか、費用が55億円、60億円と高騰していくことを市民は心配している。

**企画部長** 基本計画の案の中では、面積は1万平米が上限、総事業費についても50・8億円が上限ということで、財政計画等も考えていますので、50・8億円が上限ということになります。

### 新庁舎の建設時期は 経済環境で変更もあるか

新庁舎の建設検討は、実施設計をするまでは予定通り行ない、その実施設計での金額や、オリンピック等による工事費用の上昇等による経済環境を踏まえて、建設の時期は先延ばしすることも受けて止めてい

るが、この解釈で良いか。  
**企画部長** そのとおりです。建築工事費は設計を進めていかないと算出できませんので、基本設計、実施設計については計画通り進めて、その上で事業費の増大が避けられないという状況であれば、工事時期の見直しを考えるとということ、現在は考えています。



風・生活者ネット 一般質問

斉藤 実

### 「防災対策」 について

「阪神・淡路」から20年、「東日本」から4年と各大地震から時間は経ちましたが、最近では震度4程度の地震は珍しくなくなりました。また、御嶽山や箱根など火山の活動が活発化しているようにも思えます。これらを受け「震災・防災」対策をどのように考えているのかを伺います。

**総務部長** まずは職員を中心に実効性のある震災訓練や風水害に対する訓練も引き続き実施してまいります。今後は、こうした公助の強化に合わせ地域防災力の要となる自主防災組織などの自助・共助の主体となる組織づくりの強化と災害時の医療救護体制の構築に注力してまいります。

### 「清瀬市の対外アピール の弱さ」について

今年7月から8月にかけて「第48回東京都市町村総合スポーツ大会」が清瀬を中心に開催され、千名を超える多摩市民が清瀬に来ます。

このような機会を捉えて清瀬のPRをすべきだと思いますが、アピール力や発信力が弱いと感じるが担当

の所見を伺います。

**企画部長** 第4次長期総合計画の基本構想案の中に、シティブロモーションを挙げていますので、この視点を職員一人一人に行き渡るようにして、あらゆる業務でもシティブロモーションなど、情報発信をする視点を持ちながら業務を進めていけるようにしたいと思っています。

### 「教育環境」 について

「当たり前前」のことが当たり前にできる」というのが清瀬の教育における基本理念だと思えますが、最近複数の他市の人に「清瀬の子どもたちは大変礼儀が正しい」とお褒めの言葉をもらい嬉しくなりました。

これは教育環境が改善されている結果だと思えますが所見を伺います。  
**教育長** 本市では赤ちゃんのチカラプロジェクト等で、子どもたちが「人とかかわり」を体験的に学び、他者を尊重する心を育んできました。また校舎等の環境も良くなり、子どもの成長を支える要素となっています。今後本市の子どもたちが賢く健やかに育つよう、力を尽くします。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



## 核燃料輸送の防災対策について

下宿、旭が丘団地を通過する関越自動車道を核燃料輸送車が横須賀から柏崎刈羽原発へ向けて走っています。事故を想定すると惨事は免れません。核燃料輸送の事実や大まかな輸送回数を知っているか。消防署は核燃料輸送対策マニュアルを作っているか。また、防護服などそろえているか。消防署職員の教育、安全対策はなされているかを伺います。

**総務部長** おおまかな輸送回数は東京電力の公表から把握可能です。また東京消防庁において、放射性物質等に係る災害の消防活動基準を策定しており、防護服、保護用マスク、放射線測定器等も配置しています。訓練は、一般の消防隊を含め定期的に専門の対応訓練を実施しています。

## 中学校の教科書採択について

8月に中学校の教科書採択が行われます。見本の教科書展示会場を増やし、市民に広報をより広く行き渡らせてほしい。史実に基づくとともに、近隣諸国との友好関係を築いて

いける教科書を採択していただきたい。現場教員の意向を反映した採択制度を構築していただきたいが、清瀬市はどのような対応かを伺います。**教育部参事** 教科用図書採択事務は既に開始をしていますので、新たに展示会場を増やすことは考えていません。また教科書採択の過程では、実際に指導にあたる各学校の教員の行う調査研究の結果を参考とするシステムになっているものと考えています。

## 介護保険制度について

4月から介護保険制度が変わり要支援者の訪問介護事業、通所介護事業が地域支援事業に移行されます。要支援者の取り組み状況を伺います。**高齢福祉担当部長** 要支援者などの多様な生活支援ニーズについては、本市が実施する総合事業に移行し、要支援者の能力を活かすとともに、旧介護予防訪問介護などと住民などが参画する多様なサービスを提供できる仕組みへと見直すことにいたしました。



## 新山手病院を視察

5月19日、清瀬市議会は、結核ゆかりの地である新山手病院(保生園)を視察しました。

かつて日本でも、戦後間もない昭和25年頃までは、年に10万人以上が亡くなる最大の感染症でした。

保生園は、財団法人結核予防会が昭和14年に設立した結核療養所で、収容定員214床、昭和31年には、委託病棟を含め、490床に達しております。現在では、療養施設はありませんが、かつての地を「保生会」(退院者の会)の会長より当時のお話などを

## 公立昭和病院を視察

7月27日、清瀬市議会は、公立昭和病院を視察しました。

昭和病院は、昭和4年に昭和病院



中央手術室でスタッフから説明を受ける

伺いながら周辺を視察しました。続いて、講演では、保生園設立の背景、結核治療・対策の歴史、健康政策への影響などについて結核予防会の島尾顧問などからお話を伺いました。



狭山丘陵のふもとと八国山緑地、かつて施設があった場所の説明を受ける

組合(平成26年より昭和病院企業団)により開設され、現在では、地域中核病院として清瀬市を含む8市により構成され、病院の設置・管理、関連保健衛生事務を共同運営しています。病床数は518床で、都内自治体病院で2番目に多く、また、救命救急センターとして24時間体制で地域の三次救急医療を担っています。

視察では、院長から医療政策、介護など医療の現況と今後の課題について、循環器内科部長からは、動脈硬化と心臓病について伺いました。

続いて、病院内の設備や機器を見学し、救急搬送時の対応など現場の医師や看護師からお話を伺いました。

# 平成27年第2回定例会

## 可決・承認・同意した 主な議案

▼清瀬市防犯カメラ設置及び運用に関する条例

### 制定の理由

公道や公共施設等に設置する防犯カメラによる犯罪抑止の有効性と、市民のプライバシー保護の両面から適正に管理及び運用するため条例を制定しました。

▼清瀬市立公園条例の一部を改正する条例

### 改正の理由

清瀬市立清瀬金山緑地公園に隣接している駐車場の有料化及び下宿第三運動公園サッカー場の夜間照明設置に伴い、使用料を定めるため、条例の一部を改正しました。

▼清瀬市下水道条例の一部を改正する条例

### 改正の理由

清瀬市下水道事業経営健全化計画に基づき、本年10月より基本料金部分の水量区分を10m<sup>3</sup>から8m<sup>3</sup>に変更するため条例の一部を改正しました。

▼清瀬市道の路線の廃止について

▼清瀬市道の路線の認定について

### 廃止および認定の理由

市道の付け替え交換による路線の廃止、開発に伴う無償譲渡の受け入れにより、新たに路線を認定しました。

廃止路線

清瀬市道3118号線

(中里一丁目、市営中里第二住宅南東側)

### 認定路線

清瀬市道3403号線

(野塩地域市民センター北西側)

清瀬市道1344号線

清瀬市道1345号線

清瀬市道1346号線

(下宿第二運動公園南西側)

▼清瀬市副市長の選任について

平成27年6月30日付で任期満了となる中澤弘行副市長を、引き続き副市長に選任したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

副市長 中澤 弘行

▼清瀬市固定資産評価審査委員会の選任について

平成27年6月30日付で任期満了となる田中宏委員、木村則男委員を、引き続き委員に選任したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

清瀬市固定資産評価審査委員会委員

田中 宏

木村則男

## 平成27年第1回臨時会

▼清瀬市監査委員の選任について

監査委員に次の方を選任したいとする議案が市長から提出され、議会はこれに同意しました。

監査委員 深沢 まさ子

▼清瀬市農業委員会委員の推薦について

議会推薦の農業委員会委員として、次の方を推薦しました。

農業委員会委員 森田 正英

## これらの行為は全て禁止です

入学祝い・卒業祝い



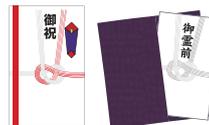
運動会やスポーツ大会への  
飲食物の差し入れ



お中元・お歳暮



結婚祝い・香典



議員の寄附は禁止  
されています

町会の集会や旅行等の  
催し物への寸志や  
飲食物の差し入れ



病氣見舞い



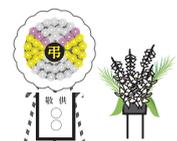
お祭りへの  
寄附や差し入れ



落成式・開店祝いの  
花輪



葬式の花輪、供花



有権者が寄附を  
求めてもいけません

(東京都選挙管理委員会資料より)

# 提出された議案等の結果

第2回定例会（6月）で審議された議案等の結果

（○：賛成 ×：反対）

市長提出議案							
議案番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
議案第33号	専決処分の報告について（清瀬市市税条例等の一部を改正する条例）（継続審査）平成27年第1回臨時会	○	○	○	○	○	承認
議案第34号	専決処分の報告について（清瀬市都市計画税条例の一部を改正する条例）（継続審査）平成27年第1回臨時会	○	○	○	○	○	承認
議案第35号	専決処分の報告について（清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）（継続審査）平成27年第1回臨時会	○	○	○	○	○	承認
議案第37号	清瀬市基本構想の議会の議決に関する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	清瀬市職員の配偶者同行休業に関する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第39号	清瀬市防犯カメラ設置及び運用に関する条例	○	○	○	○	×	可決
議案第40号	清瀬市立公園条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	可決
議案第41号	清瀬市下水道条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	可決
議案第42号	清瀬市道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	承認
議案第43号	清瀬市道の路線の認定について	○	○	○	○	○	承認
議案第44号	清瀬市副市長の選任について	投票による					同意
議案第45号	清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	投票による					同意
議案第46号	清瀬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	投票による					同意

議員提出議案							
議案番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
議案第7号	横田基地へのC V-22オスプレイの配備撤回を求める意見書	×	○	×	○3 ×1	○	否決
議案第8号	「戦争法案」を廃案にするための意見書	×	○	×	○3 ×1	○	否決
議案第10号	盗聴法の拡大と司法取引制度に反対する意見書	×	○	×	○	○	否決
議案第11号	横田基地へのC V-22オスプレイの配備についての意見書	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	安全保障法制の慎重審議を求める意見書	×	○	×	○3 ×1	○	否決
議案第13号	雇用の安定を求める意見書	×	○	×	○	○	否決

請願・陳情							
請願・陳情番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
請願第2号	国旗・国歌に関する国立大学への要請に反対する請願	×	○	×	○3 ×1	○	不採択
請願第3号	「安全保障」関連法案の拙速な国会審議に反対する請願	×	○	×	○3 ×1	○	不採択
請願第4号	介護従事者の待遇改善を求める為の請願	×	○	×	○	○	不採択
陳情第3号	空堀川流域四市長連名による「空堀川の水量確保対策及び快適な水辺環境の整備について」という東京都環境局への要望書（平成15年1月）の更新・再確認を求める陳情	×	○	×	×	○	不採択
陳情第4号	秋津駅南口周辺の道路等についての陳情	×	×	×	×	○	不採択

報告							
報告番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
報告第2号	平成26年度清瀬市繰越明許費繰越計算書	-	-	-	-	-	了承

※表中の会派の名称及び議員名

自民クラブ＝清瀬自民クラブ（渋谷けいし・森田正英・粕谷いさむ・友野ひろ子・中村清治・斉藤正彦 6人）

日本共産党＝（山崎美和・深沢まさ子・原田ひろみ・佐々木あつ子 4人）

公明党＝（鈴木たかし・斉藤あき子・西上ただし・西畑春政 4人）

風・ネット＝風・生活者ネット（小西みか・宮原りえ・石川秀樹・斉藤実 4人）

共に生きる＝（ふせ由女 1人）

※（ ）内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、議長を除いた数字です。

# 市議会日誌

5・19 清瀬市議会が、新山手病院・保生の森を視察

21 第1回臨時議会  
各派代表者会議

22 三多摩地区消防運営協議会通常総会  
各派代表者会議

25 各派代表者会議  
議会運営委員会

26 東京都市議会議長会総会  
柳泉園組合議会第2回定例会

27 28 27 26 25 22 21 19  
関東市議会議長会理事会及び定期総会

29 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会及び総会

6・2 都市高速鉄道12号線延伸促進協議会総会

8 本会議(初日)  
各派代表者会議  
議会運営委員会

10 本会議(代表・一般質問)

11 本会議(一般質問)

12 本会議(一般質問)

16 総務文教常任委員会

17 福祉保健常任委員会

18 建設環境常任委員会

24 各派代表者会議  
議会運営委員会

7・3 本会議(最終日)

8 各派代表者会議  
東京河川改修促進連盟理事會

9 清瀬市文化・風習体験事業  
多摩八都科学館組合議会第1回臨時会

13 東京都北多摩議長連絡協議会定例総会

24 各派代表者会議

27 24 13 9 8 3 24 18 17 16 12 11 10 8 2 29 27 26 25 22 21 19

柳泉園組合議会議員研修  
清瀬市議会が、公立昭和病院を視

28 議会議長  
各派代表者会議

29 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会

31 東京たま広域資源循環組合議会全議員協議会及び臨時議会

8・3 昭和病院企業団議会第1回臨時議会

6 第1回多摩北部都市広域行政圏協議会審議会

7 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会

10 東京都北多摩議長連絡協議会研修会

愛媛県新居浜市議会が、「ふるさと納税・みつばちプロジェクト」について視察

10 東京都市議会議長会定例総会

平成27年清瀬市議会第3回定例会を9月1日(火)から9月29日(火)まで、会期29日間(案)にわたり開会する予定です。

◇日程(案)

9・1 本会議(初日)  
決算特別委員会

3 本会議(一般質問)

4 本会議(一般質問)

7 本会議(一般質問)

9 決算特別委員会

10 総務文教常任委員会

14 福祉保健常任委員会

16 建設環境常任委員会

17 議会運営委員会

18 決算特別委員会

29 決算特別委員会  
本会議(最終日)

第3回定例会の  
開会予定

## 用語の解説

- \* 特定空き家…市町村から指導・勧告・命令を受けることになる空き家(そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れのある状態等)のこと。
- \* 東京都農業会議…昭和29年知事の認可法人として設立。農業生産力の発展及び農業経営の合理化をはかることを目的とする。
- \* 前頭前野…脳の活動性の調節に重要な役割を果たしている。記憶や学習と深く関連している。
- \* ユニバーサルデザイン…使う人に必要な情報がすぐに分かる、使い方が簡単に分かる、少ない力で効率的に使えるなど、全ての人にとって使いやすいデザインのこと。
- \* 自転車ナビライン…交差点における自転車の安全な通行を促すとともに、自転車利用者等に通行動線を知る青色の矢羽

- 根拠法定外表示のこと。
- \* 法テラス…日本司法支援センターの通称。国によって設立された法的トラブル解決のための「総合案内所」
- \* 地域公共交通会議…公共交通に係る案件を地域の実情に応じて適切に審議する機関。
- \* スクールソーシャルワーカー(S S W)…子どもが抱える問題に対し、学校と家庭、地域の橋渡しをし、行政や病院など外部機関同士のつなぎ役を果たすこともある。教員免許や社会福祉士の資格を持つ人がなる場合が多い。
- \* 消防団協力事業所表示制度…事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度。
- \* シティプロモーション…地域の魅力を創

- 造し、それを地域の内外へと広めることで「地域イメージをブランド化」すること、魅力的なブランドに育て、観光客や転入者を増やすこと、住民に誇りや地元愛を根づかせることを目的とする。
- \* エコツーリズム…地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全に繋がることを目指す仕組み。
- \* 環境影響評価(環境アセスメント)…開発事業の内容を決める前に環境にどのような影響があるか調査・予測・評価を行い、その結果を公表し、市民や地方公共団体等から意見を聴き、それらを踏まえて事業計画を作りあげる制度。
- \* ワークショップ…参加者が自発的に作業や発言を行える整った環境の場において学びや、創造、問題解決を図る。



市議会の会議録は市のホームページでご覧いただけます。

清瀬市議会事務局

清瀬市中里5-842 TEL (042) 497-2566(直通) FAX (042) 495-1189

清瀬市ホームページ <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

問い合わせ

